

平成28年2月24日	資料1
第28回レセプト情報等の 提供に関する有識者会議	

レセプト情報と特定健診等情報の突合について

平成28年2月24日

厚生労働省保険局医療介護連携政策課
保険システム高度化推進室

レセプト情報と特定健診等情報の突合について

突合率に関する指摘等

- 平成24年2月「保険者による健診・保健指導等に関する検討会」においてレセプトデータと特定健診等データの突合率(男性 9.8% 女性 15.7%)を公表した。
- 平成27年11月会計検査院の平成26年度決算検査報告の中で、レセプトデータと特定健診等データの突合率について、改善を求める指摘がなされた。

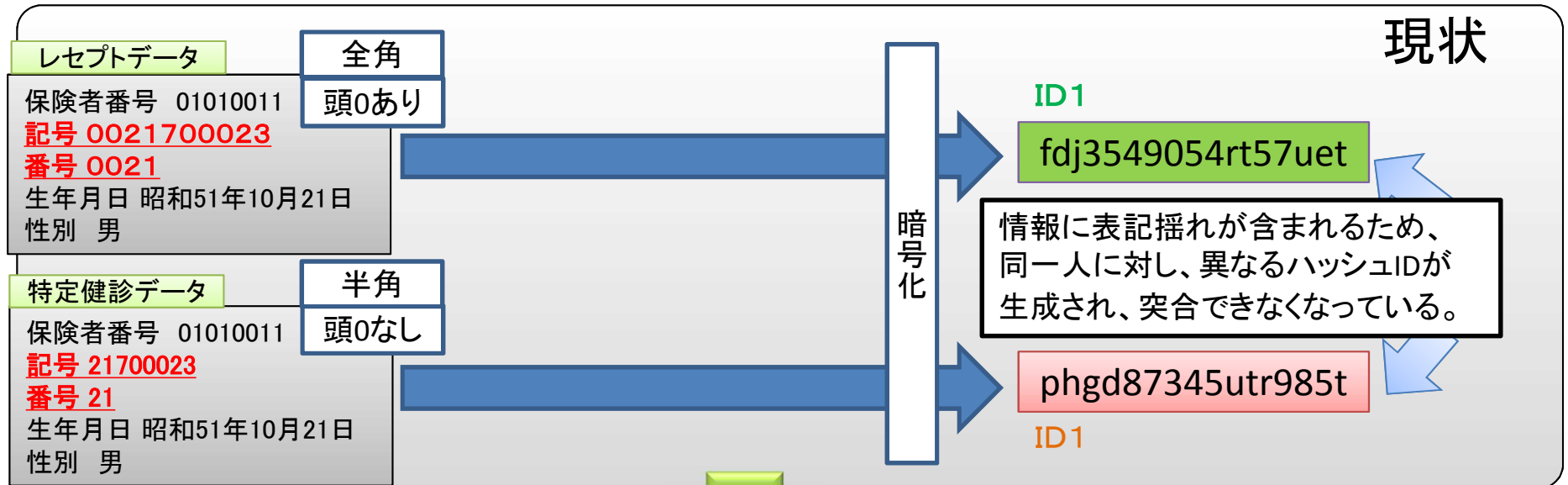
判明していること

- NDBでは、個人を特定できる情報(被保険者記号番号、氏名等)は削除しているものの、こうした情報からハッシュIDを発生させ、これにより、同一人物のレセプトデータと特定健診・保健指導データを突合できる仕組みとしている。
- 一部の保険者では、例えば、被保険者記号番号がレセプトデータでは「全角」、特定健診・保健指導データでは「半角」で出力されており、同一人物であっても異なるハッシュIDが発生し、突合ができなくなるなどの事象が発生している。

※突合率:平成24年度 24.9% 平成25年度 25.1%

NDBにおける突合率の改善案について

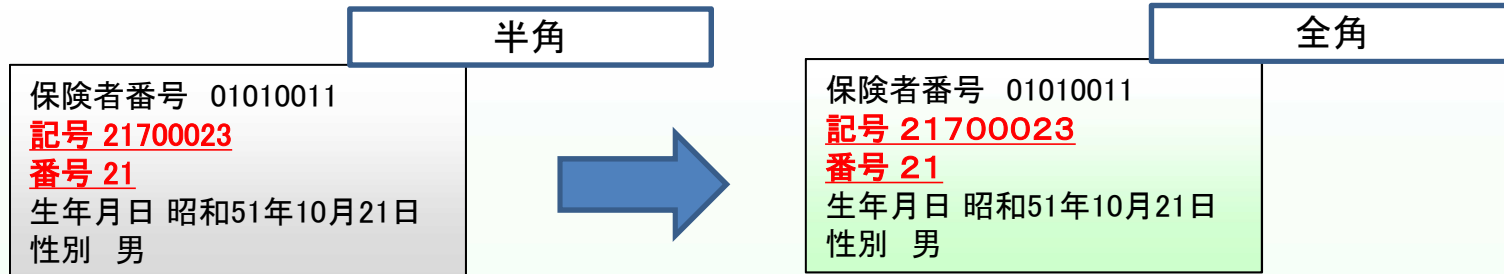
・平成27年度に匿名化・提供システムの改修を行い、表記揺れに対応したID3を新たにNDBデータに付与し、突合率の改善を図る。



表記揺れへの主な対応

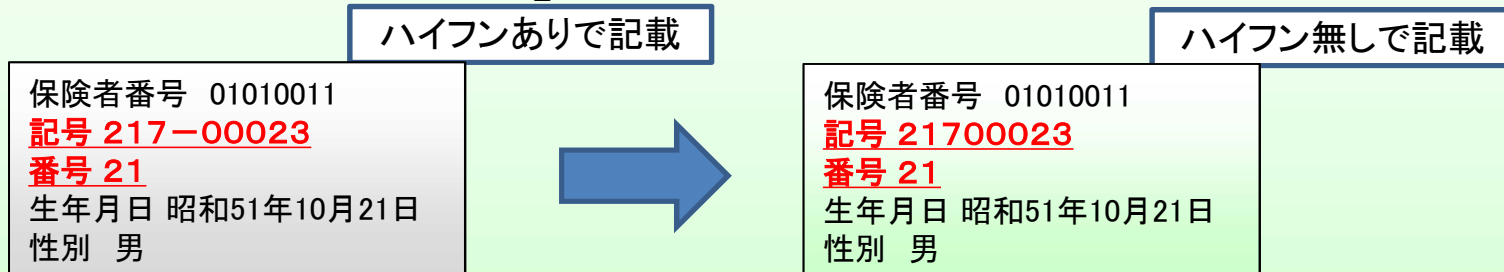
1. 全角、半角対応

被保険者記号、番号に半角の文字が入っていたら全角の文字に変換する。



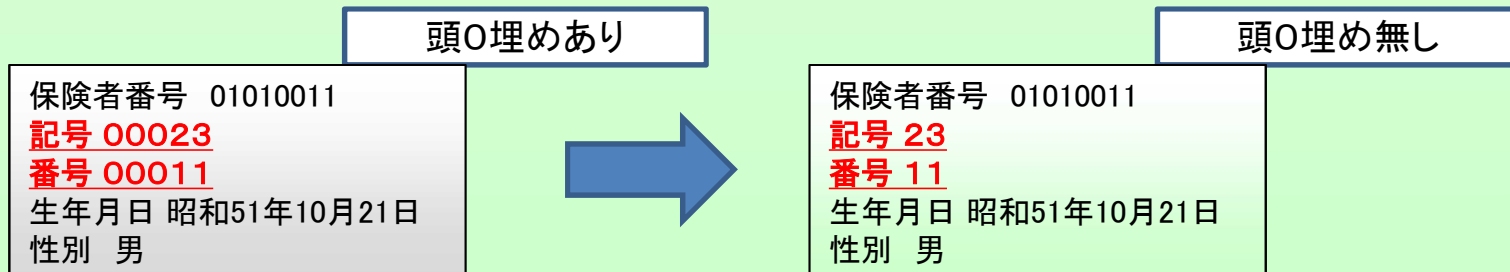
2. 指定文字の削除

被保険者記号、番号の「・」(中点)、「-」ハイフン、「_」アンダーバー等を削除する



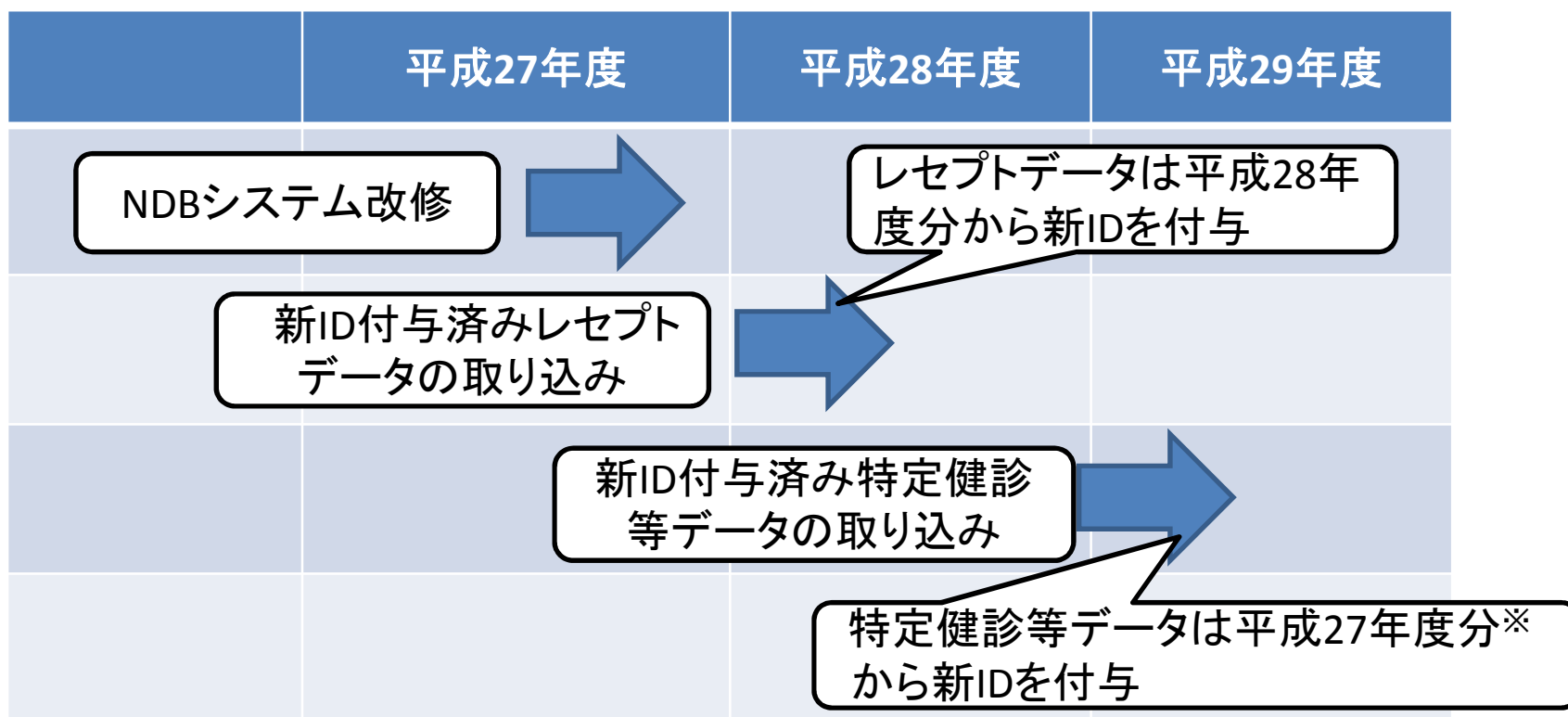
3. 先頭から続く0の削除

値の先頭を0で埋めているケースに対応する。



NDB突合率改善のスケジュール

- 平成27年度にNDBシステムの改修を実施。
- 新ID付与済みのレセプトデータ(平成28年度分～)は平成28年度から取り込み開始。
- 新ID付与済みの特定健診等データ(平成27年度分～)は平成29年前半頃から取り込み開始。



※ 特定健診等データは平成27年実施度分実績報告が平成28年度11月までに社会保険診療報酬支払基金に提出されるため、NDBへの取り込みは平成29年前半頃になる。

匿名化ソフト改修後のNDBにおける過去データについて

- ・匿名化ソフトの改修後、新たなハッシュID (ID3) は最速で平成27年度の特定健診データ、平成28年度のレセプトデータから付与される見込み。
- ・これ以前のデータについては、従来のハッシュID (ID1) と新たなハッシュID (ID3) を関連付けたIDマスターを用意し、以前のデータにもID3を付与することで、レセプトデータと特定健診等データ間の同一人認識が可能となる。

